

トルコの金融市場動向 Weekly Report

【2017年9月2日～2017年9月8日までの推移】

【1】先週の回顧

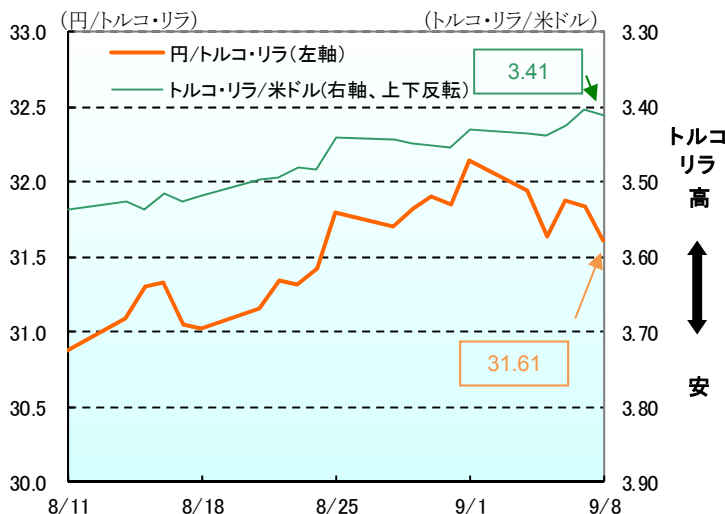
先週のトルコ・リラ相場は1週間を通して見ると対米ドルで上昇、対円では円高の進展から下落しました。またトルコの2年国債金利については、小幅な金利上昇となりました。

注目されていた8月の消費者物価指数については、市場予想を上回る上昇となりました。また、食料品や飲料、エネルギー、タバコ、金などを除いたコア消費者物価指数も同様に市場予想を上回る上昇となりました。1週間を通して見ると、北朝鮮情勢をめぐる緊張の高まりなどを背景に米ドル安円高が進展し、トルコ・リラは対米ドルで上昇したものの、対円では下落となりました。また債券市場では、投資家のリスクセンチメントの悪化から金利上昇となる局面がありました。

【2】今週の見通し

今週は第2四半期のGDP(国内総生産)の発表や金融政策委員会の開催が予定されています。GDPについては、前年比での加速が見込まれています。また主要政策金利については、後期流動性貸出金利を含めてすべて据え置かれる見込みとなっています。中央銀行は年末にかけてインフレ率は低下する見通しとしていますが、足元のインフレ率が予想外に加速していることもあり、現在の金融政策を維持すると予想します。また北朝鮮情勢など地政学リスクの高まりには注意が必要な環境が続くと想定します。

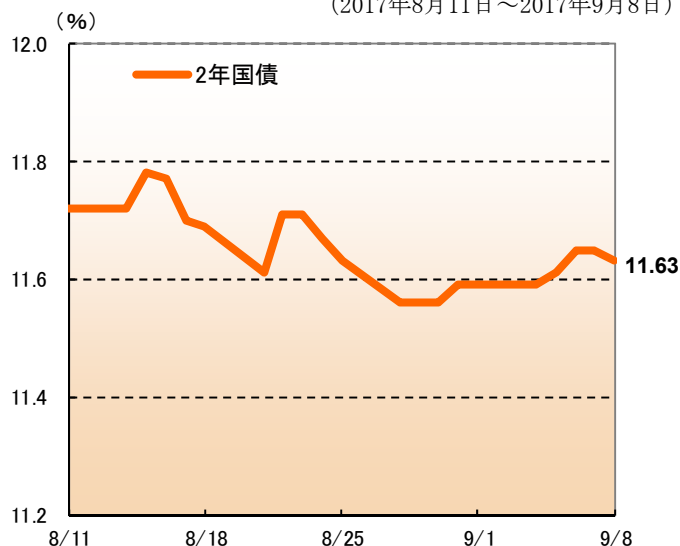
【トルコ・リラ 為替推移】 (2017年8月11日～2017年9月8日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【トルコ 金利推移】

(2017年8月11日～2017年9月8日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>